徳島市立 4年連続V

女子は鳴門渦潮5連覇

男子決勝・徳島市立対徳島北　後半27分、徳島市立のFW岡田㊧が決勝ゴールを決める＝徳島市陸上競技場

サッカー

（徳島市陸上競技場）

【男子】決勝

徳島市立 1（0－0、1－0）0 徳島北

▽得点者【市】岡田

【評】見応えある攻防の末、徳島市立に軍配が上がった。後半27分、左サイドで縦パスを受けたFW岡田がドリブルで持ち込み、ゴール右隅に流し込んだ。守ってはボールへの早めのチェックで相手のパスワークを鈍らせた。徳島北はサイド攻撃やドリブル突破で再三好機をつくったが、決めきれず、終盤はセットプレーで押し込まれる時間が続いた。

徳島北・DF中道主将（7年ぶりの優勝を逃し）「悔しい。後半はCKなどで押し込まれる時間が長く、走らされた。選手権大会などでリベンジしたい」

【徳島北】

宝永　清　道川林田田上川

儀冨　中谷扶小濱池冨久米

9　1　8　5

GK　DF　MF　FW

K　K　K　H

G　C　F　S

本上辺川谷本松延野田

12　10　5　10

山井渡中鉄橋赤小大岡

【徳市立】

▽交代【市】岡（大野）佐野（橋本）篠原（関）【北】川久保（久米川）岡（冨士）宮崎（池田）

縦パスに素早く反応

徳島市立 F W

徳島市立の2年生FW岡田が放ったシュートはGKの脇を抜けて芝生を転がり、ゴールに吸い込まれた。「よっしゃー」。大歓声の中、ヒーローは先輩の手荒い祝福を受けて、小さくガッツポーズした。

後半27分、味方の縦パスに反応し、素早く相手DF陣の裏へ。序盤からオフサイドトラップに再三、苦しめられていたが、ワンチャンスをものにした。殊勲のゴールに「毎試合得点することが目標だった。大きな自信になる」と、笑顔を見せた。

冬の県新人大会は主力の故障もあり、準決勝で0－3と徳島北に完敗。しかし、肩を落とすことなく練習を積んできた。序盤から前評判の高い徳島北に攻め込まれる場面はあったが、フィジカルの強さと早いチェックで対抗し、徐々に主導権を握り返した。

全国の舞台に立つのは4年連続。昨年は初戦で敗退するなど、近年は上位進出を阻まれているだけに、イレブンは「今年こそ」との思いを隠さない。攻撃の司令塔となるFW小延は「さらに練習してミスを減らし、パスやシュートの精度をさらに高めたい」と意気込みを語った。

（平尾貴宏）